

(別紙4(2))

事業所名:グループホームあじさい「ほてい」

目標達成計画

作成日: 令和 4年 3月 9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議への家族様の参加が少なく、家族様のホーム運営でのご意見が把握しきれていない。	多数のご家族様に参加をして頂き、多方面からのご意見をお聞きし、ホーム運営に役立てていけるようになる。	現在、奇数月の金曜日に定例開催をしているが、今一度家族様に参加可能な日時を聞き取り、柔軟に会議時間を設定することで、少しでも多くのご家族様が参加できるように努める。また、オンラインでの参加などにも対応していきたい。	6ヶ月
2	6	身体拘束未実施減算会議を三か月に一度開催し、身体拘束についての意識の向上に取り組んでいるが、玄関の施錠についての意識が甘く、施錠していることに慣れてきてしまっていて、利用者様への対応ができていないことがある。	玄関を施錠していることを職員が理解して、玄関に向かわれた方へのかかわり方を今一度見直し、その方のどうされたいかという意向を確認し、意向に沿った対応ができるように努める。	身体拘束未実施減算会議やユニット会議などで、身体拘束や玄関の施錠についてを議題に取り上げ、皆で話し合う機会を多く作り、身体拘束の意味を正しく理解して利用者様に関わることができるように努める。	6ヶ月
3	33	ホームでの看取りを見据えた支援を前向きに考えているが、現状のホームの体制から困難であると考えている。	ご家族様からの看取りに対しての要望もある為、職員体制(職員の勤続、介護の知識など)の充実に努める。	カンファレンスや管理者との面談時間を確保して、仕事上の労苦などを聴き、負担の軽減に努める。また、職員に法人内の研修受講を勧めるとともに、適宜技術的な指導等を行っていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。